

東京大学地震研究所共同利用研究集会

「海溝海側の過程に関する横断的研究: 沈み込み帯インプットの実態解明を目指して」

(本プログラムは暫定版であり、情報に変更の可能性がございます)

※ こちらのフォームから参加登録をお願い致します: <https://forms.gle/oHmrssinc8SLt8uL6>

日時: 2021年10月25日(月) 14:00 - 17:30

10月26日(火) 13:00 - 16:30

開催形式: オンライン (Zoom)

10月25日(月)

14:00 はじめに: 研究集会の趣旨説明

14:10 海洋プレートの下部地殻-マントルに海水が浸透したときの反応プロセス
岡本 敦 (東北大学)

14:40 Stress State and Fluid Drainage Conditions at Shallow Plate Boundary
Fault of Japan Trench
Ehsan Jamali Hondori (東京大学)

15:10 北海道南東沖アウターライズ津波即時予測のための震源断層マッピングへ向け
た昨今の反射法地震探査と海底地形データの解析
野 徹雄 (JAMSTEC)

15:40 2011年東北地方太平洋沖地震と宮城沖の海洋プレート内部の応力状態
久保田 達矢 (防災科研)

16:10 討論: アウターライズ地震活動のモニタリングに向けて
(パネラー) 朴 進午 (東京大学・大気海洋研)
尾鼻 浩一郎 (海洋研究開発機構)
西澤 あずさ (防災科研)
山野 誠 (東京大学・地震研)

17:10 全般の討論

10月26日(火)

13:00 ごあいさつ

13:10 日本海溝アウターライズ断層における高いヘリウム同位体比を持つ流体の存在
鹿児島 涉悟 (富山大学)

13:40 種子島沖海底泥火山の表層堆積物中のヘリウムの起源
満留 由来 (琉球大学)

(休憩)

14:30 ヘリウム同位体と地震活動
佐野 有司 (高知大学)

15:00 構造地質学的にみたアウターライズ断層
山口 飛鳥 (東京大学)

15:30 総合討論